令和5年度 食育推進事業実施計画

事業目的・概要

『調布市食育推進基本計画（第3次）』（平成30年度～令和4年度）に基づき、「食を通じたところとからだの健康づくり」を基本理念に、市民の健康づくりを「食」という側面から進める。市民一人ひとりが、食べることへの理解と感謝を深め、望ましい食生活を送ることを通して、生涯にわたって健全な心と体を育み、豊かな人生を送ることを目指す。

関連計画

調布市食育推進基本計画（第3次）

【計画期間】

平成30年度～令和5年度 ※1年延長

【計画目標】

基本理念に加え、食育で取り組むべき分野を「心（こころ）・体（からだ）・技（わざ）・土台」とし、計画を推進する。

本計画では、家庭・行政・地域が相互に連携・協力を図り、これまでの「普及啓発」に重点を置いた取組から、市民一人ひとりが食育を「実践」できるよう、環境整備を進め、共通認識のもと一貫した食育の定着をめざす。また、さらに庁内の連携を強化することで、それぞれの部署がもつ外部との関係性をいかし、広く周知することで、多くの市民に情報が届き、より効果的に事業が実施できるよう推進していく。

- 目標1 食べることへの理解と感謝を深める
- 目標2 楽しく食事をする
- 目標3 望ましい食生活を心がける
- 目標4 五感を使って、味わって食べる
- 目標5 安全に食べる
- 目標6 食を選択する力を身につける
- 目標7 望ましい食習慣を実践する
- 目標8 食を通じた地域のふれあい・絆づくりを大切にする

事業内容

1 調布市食育講演会

食育月間である6月に市民全般を対象とした、「食」に関する身近なテーマを取りあげた講演会を行い、市民一人ひとりが自らの食生活を見なおすきっかけとし、健康的な食生活の実践を促すことを目的として行う。

- (1) 演題
野菜を楽しみ、もっと健康に！
- (2) 講師
キューピー株式会社 堀池 俊介氏
- (3) 日時
令和5年6月24日（土）午前10時から午前11時30分まで
- (4) 会場
文化会館たづくり12階大会議場
- (5) 参加者
87人

2 食育セミナー「目指せ！調布っ子食育マイスター」

小学4・5年生を対象とした食育講座。食に関する様々な体験を通して、食べることへの理解と感謝を深め、健全な心を育み、生涯にわたって健康的な食生活を実践することができるようなきっかけづくりとする。また、食育マイスターとして、家庭や学校、地域への食育を推進する担い手となる。

令和5年度の食育セミナーでは、埼玉県立大学及び民間企業2社（JA全農ミートフーズ株式会社、オリジン東秀株式会社）に協力を依頼。

- (1) 講座内容
 - ア 調布っ子食育マイスターの心得（心の分野）
 - イ 自分の味覚を調べよう（心・技の分野）
 - ウ お肉が食卓に届くまで（心の分野）
 - エ 食べ物を選ぶチカラを身につけよう（技の分野）

3 普及啓発

- (1) のぼり旗とミニのぼり旗の設置
6月（食育月間）と9月（健康増進月間・食生活改善普及運動）に「食を通じたところとからだの健康づくり」と記載したのぼり旗と「毎月19日は食育の日みんなで楽しくおいしく食べよう」と記載したミニのぼり旗を市内関係機関に設置
- (2) ポスターの掲示
調布市食育推進基本計画（第3次）に基づき作成したポスター2種類を市内各所に通年掲示し、食育について市で統一した取組の啓発を行う。
- (3) 情報発信
広く市民に情報提供を行い、興味・関心を持つ機会をつくる。
 - ア 奇数月5日号の市報に、食に関する情報「食育コラム」を掲載する。
 - イ 市ホームページ、調布FM等を活用し、各事業の周知と食育の普及啓発を行う。

(4) 普及啓発媒体の配布

6月（食育月間）と9月（健康増進月間・食生活改善普及運動）に、野菜摂取量の増加を図るため、簡単に作れる野菜料理のレシピを載せたポケットティッシュを配布

6月は保健センターと市役所の来所（庁）者に向けて配布。9月は野菜摂取量増加の啓発ポスターの掲示とあわせて、市内関係機関で配布

4 次期計画策定における食育推進事業の方向性について

(1) 令和4年度実施の調布市民健康づくりに関する意識調査の結果から見える課題

ア 朝食の欠食

中高生，成人ともに朝食を食べる人の割合が減少している。

イ 主食・主菜・副菜の3つをそろえて食べる人の割合（成人）

ほぼ毎日という人が35.3%と最も多かったが、ほとんどない人は16.3%、週に2~3回という人が27.1%となっており、合わせて4割強の人が、バランスがとれた食事をとれていない。

ウ 食生活上の気になる点（成人）

野菜不足になりがちであると回答した人が36.0%と最も多く、次に塩分のとりすぎと回答した人が30.8%と多かった。

エ 調布産農産物の購入（成人）

意識的に調布産農産物を購入している人が32.6%で、前回調査（平成28年）の結果41.3%よりも減少している。

オ 郷土料理や伝統料理・行事食の継承（中高生）

受け継いでいると回答した人（46.1%）よりも受け継いでいないと回答した人（53.9%）の方が多かった。

(2) 食育推進事業の方向性

ア 食への意識や関心を高め、理解を深める

バランスのよい食事内容について、普及啓発や健康教育の取組みを図る。

イ 健康的な食生活の実践

健全な食生活の実践に向けて、現在の自信の食生活を見なおし、改善する機会の提供や取組を実施する。

ウ 食を通じた地域とのつながり

食に関する環境には、地域とのつながりや食への感謝、環境への配慮、食文化の継承等がある。様々な取組について推進していく。